

メッセージアウトライン 2019年12月8日(日)「イザヤは何を見たか」

聖書箇所：イザヤ6：1～13

タイトル：「イザヤは何を見たか」

テーマ：今日の箇所は、イザヤという預言者が幻の中で神に出会い、自分の本質に出会い、神のご計画に出会い、さらに神にある希望に出会う箇所です。イザヤが体験した出来事の中に、私たち自身を重ねて見ながらキリスト者としての歩みをもう一度点検させていただき、クリスマスによってもたらされた神の恵みにあらためて感謝を捧げたいと思います。

#### 1. 初めに：

- \*イザヤの生きた時代背景
- \*イザヤが果たした預言者としての役割

#### 2. 6章でイザヤが見たもの

##### ①高く上げられた御座についておられる主（1～3節）

- \*栄光の神
- \*聖なる神
- \*万軍の主である王

##### ②汚れた自分（5節）

##### ③神の恵みと憐れみ（6、7節）

##### ④イスラエルの民の現実の姿（9～12節）

##### ⑤神にある希望（13節）

#### 3. イザヤの体験がクリスチャンとしての私たちの体験となるように

- ①私たちの神理解はどのようなものか
- ②私たちは自分の真実の姿を知っているだろうか
- ③神の恵みと憐れみを体験したか
- ④自分の置かれた状況を正しく理解しているか
- ⑤私たちの希望はどこにあるのか

#### 4. 結論

イザヤが待ち望んだ「残された切り株、聖なる裔（すえ）」こそイエス・キリスト。  
このお方のご降誕を祝い、このお方を宣べ伝えよう！ 「私を遣わしてください」と叫ぼうではありませんか。